

# 被ばく検査の結果をお知らせします

東京電力福島第一原子力発電所事故による放射性物質の影響に対する市民の不安を解消するため、市は健康管理対策として、内部被ばく検査および外部被ばく検査を行ってきました。

健康への影響を正しく理解し、市民一人ひとりが自らの健康管理に役立てていただくため、これまで行ってきた検査の結果を、今月号と来月号の2回に分けてお知らせします。

今回は、内部被ばく検査の実施結果をお知らせします。

## 内部被ばく検査とは

内部被ばくとは、主に放射性物質を含む食品を食べた時に、体内で放射線被ばくが起ることをいいます。内部被ばく検査は、放射性物質が体内にあるかどうかを、ホールボディカウンター(WBC)を使って検査するもので、市では全市民を対象に平成23年から行ってきました。

## 検査の受検状況

WBCによる内部被ばく検査は、平成23年7月から県の検査機関を使って始めました。平成24年6月から、市の放射線健康管理センターでも検査を始めました。

1 巡目の検査では、1万6726人(全市民の41%)が検査を受けました。このうち、震災当時(平成23年4月1日時点)18歳以

## 検査の結果

下の人を優先して検査し、6051人が検査を受けました。

1 巡目の検査は平成26年7月17日に終了、同月20日から2 巡目の検査を始め、今年9月に終了したところ

検査の結果、セシウム134またはセシウム137が検出(以下「検出」という)された人は、1 巡目では164人で、そのうち18歳以下は22人、19歳以上は142人でした。2 巡目の検査で検出された人は3人(19歳以上のみ)で、1 巡目より大幅に少なくなっています。(下表参照)

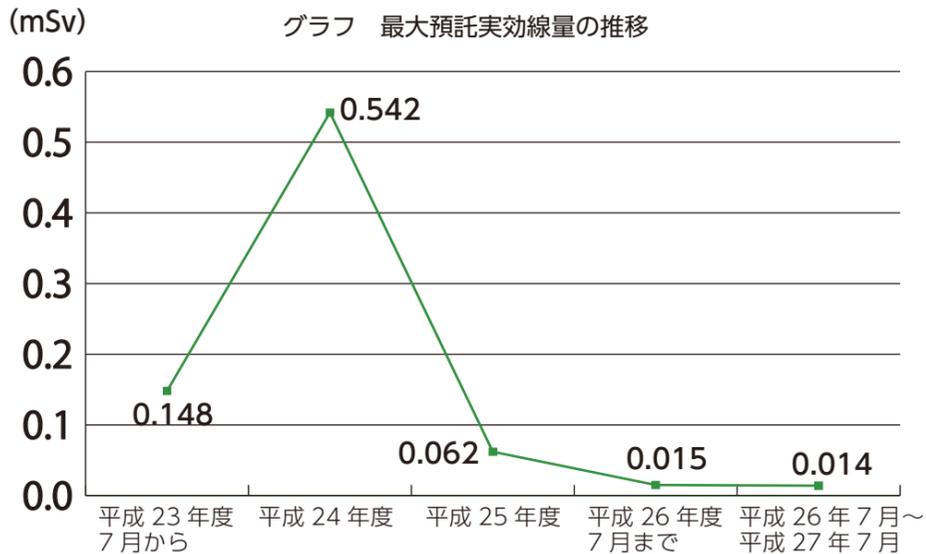
また、検出された142人の19歳以上の人については、その約90%が平成25年

表 内部被ばく検査の受検状況および結果

検査時期	1 巡目 (平成 23 年 7 月～ 平成 26 年 7 月)		2 巡目 (平成 26 年 7 月～ 平成 27 年 7 月)	
	受検者数 うち検出値あり	うち 検出値あり	受検者数	うち 検出値あり
当時 18 歳以下	6,051 人	22 人	3,790 人	0 人
当時 19 歳以上	10,675 人	142 人	4,862 人	3 人
総数	16,726 人	164 人	8,652 人	3 人

- 検出限界値：セシウム 134…180 ベクレル/body  
セシウム 137…220 ベクレル/body
- ベクレル/body：1人の体内の放射性物質の量を表す単位

7月までの検査で検出されたものでした。18歳以下の人については、平成24年11月を最後に、検出された人は出ていません。



## 防護の目標値を下回る

検出された最大預託実効線量(※1)の年度ごとの最大値は、平成24年度の0.542ミリシーベルトを最高に、以降低くなり、今年度は0.014ミリシーベルトまで下がっています。放射線の防護の目標値は1ミリシーベルトといわれていますが(※2)、検出結果はそれを下回っているため、健康に影響を与える心配はないという結果でした。(上のグラフ参照)

※1 最大預託実効線量：放射性物質を含む食品などを毎日継続して経口摂取したと仮定したうえで被ばく線量を推定し、成人は50年間、子どもは70歳までに体内から受けると思われる内部被ばく累積量を表します。

※2：国際放射線防護委員会は平常時の放射線の防護の目標値を1ミリシーベルトと定めています。

## 再検査

検出された人を対象に、

## 検査の総括

これらの検査結果から、食品による内部被ばくを受けた人は、震災当時には約1%で、2 巡目になると0.06%と、ほとんど検出されなくなっています。放射線の自然減(※3)、食品管

再検査を行いました。1 巡目で再検査を受けたのは、164人中66人、そのうち18歳以下は10人ですべて未検出、19歳以上は56人中13人に検出されました。

1 巡目で検出された人の食事を調査したところ、山菜やイノシシなどを食べている例が見られました。また、再検査で検出された人の食事にも、山菜や川魚などを日常的に食べている傾向が見られました。再検査で検出されなかった人の中にも、山菜などを食べている例が見られましたが、山菜などが生育した環境によって放射性物質の量が異なると考えられます。食べたいものが気になる場合は、内部被ばく検査をお勧めします。

## 今後の検査体制整備

このような状況を踏まえ、市では、内部被ばく検査の実施体制の見直しを行いました。今後は、地域ごとの検査期間を設けず、食の安全を確認したい時や健康不安を感じた時には、随時検査できるような体制にしていきますので、今後も内部被ばく検査を健康管理にご活用ください。

## 【問い合わせ】

保健福祉部 保健課

☎ 81・2271

次ページには、内部被ばく検査体制の変更点と、放射線と健康に関する講演会のお知らせが載っています。